

研究開発による 豊かな国民生活と国の発展の実現

～ 情報通信審議会答申より～

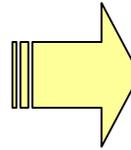
平成15年3月28日

総務大臣

片山虎之助

携帯電話が牽引する技術開発

厳しいユーザ要求、ニーズの多様化、
約半年ごとの継続的な新製品投入
常に新技術開発へのチャレンジ
(部品の限界までの小型化等)
他社との**厳しい競争**

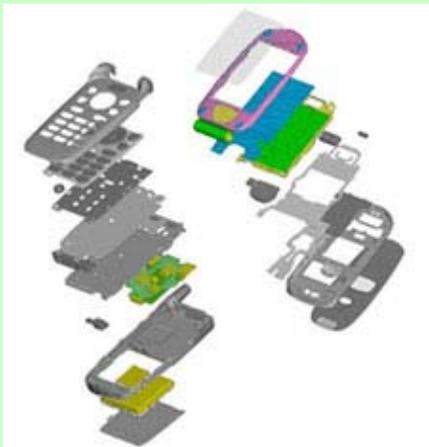


多くの最先端の技術開発を牽引
(納入会社80社、幅広い裾野産業)
iモード、着メロなどの新サービスを創出

明確な目標への技術者の頑張りが
世界トップレベルの技術力を実現



携帯電話高度化のための技術開発の例



全体仕様



薄さ16.8mm(2002年6月当時世界最薄)
(前の型に比べ約40%もの薄型化)
100点以上の新たな無線部品等を投入

液晶画面



厚さを半分(約2mm)
画面支持枠の見直し、新材料投入

ウェブ・
コンテンツ技術

日本の技術が国際標準化(コンパクト - html)
携帯加入者の80%超がインターネット
サービス接続可
写真、動画像の扱いは世界最先端

研究開発を国の発展にどう結びつけるか

豊かな国民生活と国の発展のために研究開発は重要。しかし

技術の現状

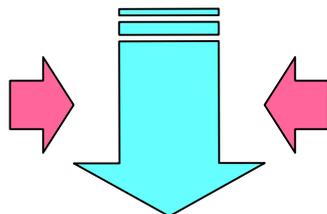
我が国の技術水準は高い
(例 携帯電話の要素技術)



問題点

- ・研究開発成果が産業に結びつきにくい
- ・研究開発投資の減少

限られた研究開発投資の中、
成果をどう製品、サービスに
結びつけるか



製品やサービスを
どう世界に展開するか

基本的な考え方

～ 研究成果を増加させる～
強力なマネジメント (MOT)
研究者がチャレンジできる環境
一人一人の実行
チームワークの再認識

～ 成果を産業化に結びつける～
市場での普及を目指した、
標準化、産学官連携、実証実験支援
国益を考慮した知的財産の活用、
標準化との一体的取組み

研究開発にユーザの視点を

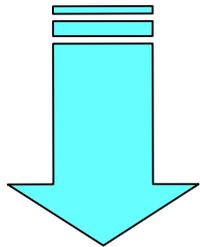
現 状

我が国の技術力はまだまだ高いが、
厳しい経済情勢、リストラ等による
個人レベルの閉塞感



ユーザ、技術者の意識

国の戦略と生活の間に親近感がない
社会が複雑化しユーザと作り手に距離感
情報通信技術は「難しい、冷たい」



- ・ 技術力は世界的に負けていない。
- ・ iモードはよく利用するが、パソコンは使いづらい
- ・ 閉塞感。自国に自信を失いつつある
- ・ 技術者や国民をどう元気付け、産業活性化に結びつけるか

これからの研究開発のポイント： ユーザ、作り手の視点を重視

3つの基本コンセプト

ユーザ（国民）が利用して満足できる
作り手（技術者、研究者）が
やり甲斐を感じられる



産業活性化を通じ国が発展する



研究開発へ新たな視点を

～ 安心と感動 ～

「物」から感動へ

性能から感性を重視へ

研究開発推進のための方策 (参考)

国として、**計画** → **実行** → **評価** のマネジメントサイクルの確立

